

## 2003 年度（平成 15 年度）第 6 回常務理事会記録

日時：2003 年（平成 15 年）12 月 6 日（土）11：00～13：50

場所：ホテル八重洲龍名館「百合の間」

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、柴田洋三郎、高田邦昭、山科正平（以上、常務理事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：依藤宏（幹事）

### . 会議記録の確認

2003 年度第 5 回常務理事会記録（案）及び同摘録（案）

2002 年度総会議事記録（案）

2002 年度学術評議員会議事記録（案）

### . 報告事項

#### 1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

##### 1) 会員異動報告（正会員 2,528 名 2003 年 12 月 6 日現在）

2003 年 9 月分 入会者 正会員 2 名 学生 2 名 退会者 正会員 6 名  
学生 2 名 賛助 1 件 住所変更等 89 件

2003 年 10 月分 入会者 正会員 2 名 退会者 正会員 2 名 評議員 1 名  
名誉 1 名 住所変更等 23 件

##### 2) 逝去会員

高楠 彰氏（奈良県立医大 名誉教授 / 名誉会員）2003 年 6 月 28 日（土）逝去（享年 72 歳）

藤本 和氏（福井県立大・看護福祉・生体機能学・構造学 教授 / 学術評議員）2003 年 11 月 28 日（金）逝去（享年 49 歳）

##### 3) 学会に届けられた文書等

###### 通知等

a. 厚生労働省より「平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金に係る研究課題の公募について」（情報提供）

b. 日本学術会議より「独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究等）取扱い要領の制定について」（通知）

c. 日本医学会より「第 70 回日本医学会定例評議員会」報告、）「治験推進研究事業に伴う治験候補薬の推薦依頼」他、5 件の通知等が届いている。

###### 書籍、定期通信 他

国立情報学研究所より、「NII Journal Vol.7」 他 6 件の定期通信が届いている。

後援・協賛及び会告・推薦依頼等

3次元画像コンファレンス実行委員会より「3次元画像コンファレンス2004」協賛依頼 他2件の協賛及び会告掲載の依頼につき、先方の要望通り対応することが確認された。

#### 4) その他

「解剖学用語」に関する日本整形外科学会からの問合せについて前回常務理事会(2003年10月18日)審議に基づき返答をしたことが報告された。

長期会費未納者の除名について

定款第9条第2項の規定に基づき、2001年度以降会費未納の会員(合計77名)を除名することが報告、確認された。

### 2. 編集報告(柴田編集担当理事)

#### 1) 「ASI」及び「解剖学雑誌」刊行報告

刊行状況につき説明があり順調に出版されている旨、報告があった。

#### 2) 解剖学雑誌における「著作権の学会帰属」(著作権譲渡同意書の管理)について

2004年度(第79巻1号)に掲載される論文より、著者から「著作権譲渡同意書」の提出を求め、編集事務局にて保管することが(同意書の書式も含め)報告され確認された。

#### 3) 平成16年度科研費(研究成果公開促進費)申請

標記の件につき、例年通り申請を行ったことが報告された。

### 3. 企画・渉外報告(河田企画・渉外担当理事)

#### 1) 第16回国際解剖学会議(2004年度開催)準備状況

前回常務理事会で報告のあった「第16回国際解剖学会議 学術会議合同委員会 第1回会議」及び「第16回国際解剖学会議 学術会議幹事会」につき、当日の議事録が提出され、再度確認がなされた。

また現在、組織委員会にて「News Letter」の刊行(会員向け)を準備中であることが併せて報告された。

#### 2) 日米解剖学会合同シンポジウム

米国解剖学会のホームページにプログラムが掲載されたことが報告された。

#### 3) 生物科学学会連合の提言

11月12日(水)に開催された「第10回連絡会議」の席上で討議された「研究体制に関する提言」の最終案が提示され、了承された。本提言は、加盟20学会の総意として文部科学省に提出される予定である。

### 4. 会計報告(山科会計担当理事)

#### 1) 平成15年度収支仮決算報告

収支に関し、特に大きな問題はない旨、報告があった。

## 2) 支部学術集会収支報告

第 49 回東北・北海道連合支部学術集会

第 58 回中国・四国支部学術集会

## . 審議事項

### 1. 平成 16 年度事業計画（案）

資料に基づき審議された結果承認され、理事会に諮ることとなった。

### 2. 平成 16 年度予算（案）及び「国際解剖学会議 特別会計」の設置

資料に基づき審議された結果承認され、理事会に諮ることになった。

また、平成 16 年度は「国際解剖学会議」開催の年にあたり、本会議の経理を明瞭にするため、一般会計とは別に「特別会計」を設置・管理することが承認され、併せて理事会に諮られることとなった。

尚、本特別会計は平成 16 年度限りとし、残額は一般会計に繰り入れることとする。

### 3. 平成 17 年度科研費審査委員候補者選出選挙について

標記選挙の実施要領が資料として提示され、承認された。

尚、平成 15 年度第 2 回理事会決議により、選出過程（方法）が昨年までとは以下の点で異なることが確認された。

- ・ 学術評議員による投票（推薦）は 1 回とする。
- ・ 投票（推薦）は全て記名投票とする。ただし、推薦理由の記載は不要とする。
- ・ 「推薦委員会」は、地域及び専門分野のバランスを考慮の上、独自に 10 名程度の候補者を追加することができる。

### 4. 永年会員の推薦及び永年会員証

平成 15 年度永年会員推薦候補者一覧が提示・承認され、理事会に諮られることになった。また、「永年会員証」については、現行の「盾」在庫の終了に伴い、「賞状」形式のものに変更することとなった。

### 5. 申請学術評議員の選考基準について

理事会で問題提起をした上で、あらためて検討をすることが確認された。

### 6. 各種内規の制定について

弔慰に関する申し合わせ書

（社）日本解剖学会における「解剖学振興基金」に関する規定

（社）日本解剖学会における基本財産の運用益の用途に関する規定

上記 3 件の内規及び規定（案）が承認され、理事会に諮られることとなった。

### 7. 「解剖学用語集」の出版について

細部（経費、著作権 他）について解剖学用語委員会に確認をとった上で改めて検討をすることが確認された。

8. 「日本解剖学会動物実験指針」の取扱い

平成 15 年度総会 / 学術評議員会で承認された標記「指針」につき、次号解剖学雑誌及び学会ホームページ上で公開することが承認された。

9. 学術集会のあり方（学術委員会からの提言を受けて）

学術委員会より提言のあった標記事項について、理事会で検討の上、平成 16 年春頃までに学会としてのある程度の方向性を打ち出すことが出来るよう、審議を進めることが確認された。

10. 海外関連団体（IFAA, APICA）との関係

標記案件に関しては、長・短期的な対応策を理事会でまとめていく必要があり、このために「諮問委員会」を設置し、検討を進めることが承認された。

11. 次回常務理事会開催日程

平成 16 年 1 月 31 日（土）午後 3 時より、東京大学にて開催する。